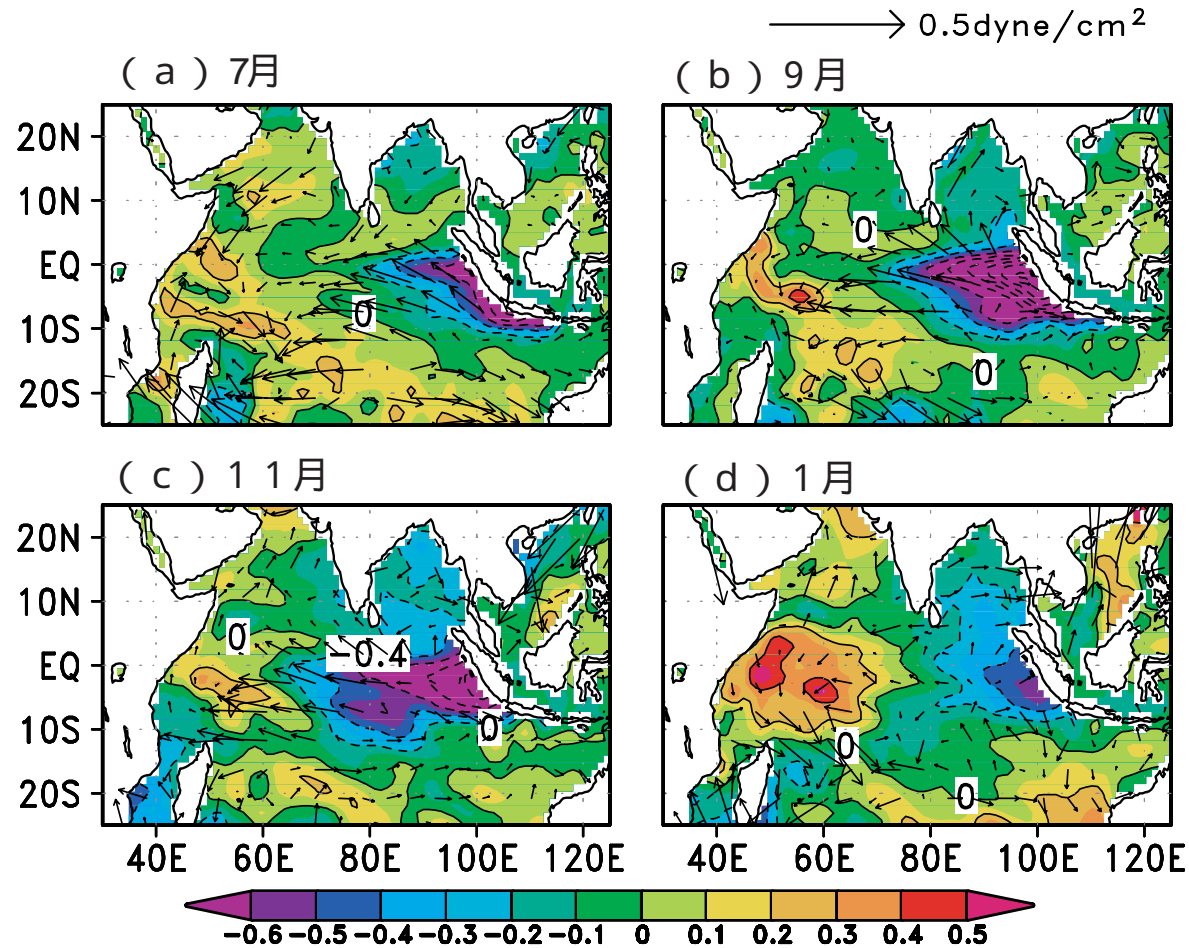


大気海洋結合モデル解析により得られた ダイポールモード現象の発展過程



東西インド洋における海面水温の差と風応力が互いに助長しあって [(a)~ (c)] 最終的に西側の海面水温が高く東側では海面水温が低いダイポール構造を形成する (d)様子を示す。これはネイチャー誌に発表した実際の観測データを忠実に再現している。